

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	つづけよう！市民の文化芸術活動
事業主体 (連絡先)	NPO 法人サポート C 茅野市塚原一丁目 1-1
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,382,420 円 (うち支援金：979,000 円)

事業内容

コロナ禍にあっても市民が文化芸術活動を継続できるよう、感染予防対策を考えた上で、インターネットを活用した記録・発信事業と鑑賞事業を実施。またその事業を支える人材育成を図った。

- 文化活動を行う際の感染予防対策について考えた。
勉強会の実施 9月30日(水)
- オンラインでどんな事ができるかを知り体験した。
講座の実施 11月15日(日)、12月6日(日)、20日(日)
- 市民の文化芸術活動を録画し YouTube で公開した。
収録の実施 12月6日(日)、1月27日(水)、2月7日(日)
- ライブ配信を身近な会場で楽しむ落語会を実施した。
落語会の実施 11月21日(土)



【落語会の様子】

【目標・ねらい】

- ①催事運営の感染予防対策を考える
- ②オンライン配信や You Tube を活用できる人材の育成する。
- ③市民の文化芸術活動を録画し You Tube チャンネルで公開し、市民に発表と鑑賞の機会を提供する。
- ④コロナ禍でも楽しめる落語会を開催し市民に鑑賞機会を提供する。

事業効果

- ①一人ひとりが状況に応じた感染予防対策を考え意見交換しながら催事の運営にあたるようになった。
- ②ネットに不慣れな人も講座や事業運営を通して「使ってみる」ことができ、文化活動の収録・公開やライブ配信を上映する落語会の運営は延べ50名の市民によって運営した。
- ③9団体20本の動画を You Tube のサポート C チャンネルで公開、視聴回数は合計3900回を数える。発表の機会が激減、自ら公開する術を持たない市民に大いに喜ばれた。
- ④ライブ配信を大画面で鑑賞した3会場では一般市民30名余りが、高齢者施設1か所では利用者・職員が鑑賞。ライブ配信は15名の視聴申込みがあり、YouTube のアーカイブ視聴は150回を数える。

※自己評価 【B】

【理由】感染予防に配慮した事業運営ができた。そのため、想定以上に会場や時間の設定に余裕を持つことになり、加えて年末年始の感染状況を受け、市民活動の自粛傾向が一層、強まったため、収録団体数が限定されることになったため。」

今後の取り組み

感染拡大予防に努める生活が続く中、細心の注意をはらいながらも、たとえ小さな規模であっても動き続けることが大切であると再認識する機会となった。今後も状況に応じ、できること、できるカタチを探りながら、創造・表現活動をする人に発表の場を、市民に鑑賞や文化体験の機会を設け、市民の文化芸術活動継続を支えていきたい。日頃は茅野市民館を活動拠点としているがより身近な場所、なじみのある会場で、催しを開催していきたい。また、文化芸術活動の収録・公開にも継続して取り組んでいきたい。今年度は茅野市民館の舞台で収録したが、団体の活動拠点に向いての収録なども試みたい。どんな時(状況)でも、いつでも、どこにでも出かけて行き、市民の文化芸術活動をともに楽しみ、つくり上げる NPO でありたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある